



兵庫県・豊岡市×新潟県・佐渡市 環境創造型農業推進宣言

(現状認識)

世界では産業が発達し、人間の活動が自然環境に様々な影響を与えてきました。地球温暖化が進行し、気象災害の頻発化、激甚化が見られるようになり、生物の絶滅や生態系の破壊という深刻な問題にまで及んでいます。

(環境創造型農業の取組意義)

そのような中、兵庫県や新潟県では豊岡市、佐渡市を中心に、生産と環境保全を調和させる農業の取組が広がり、一時は消えたコウノトリやトキの姿が再び見られるようになりました。

こうした農業の取組は、人や生きものにやさしいだけでなく、地域の景観保全や炭素排出量の低減などの効果があります。それは、人と自然・文化、都市と農村、生産者と消費者が共に生きる社会の実現と、生産者の誇りを醸成し、人と環境の新しい関係を創造していくものと言えます。そして、これは今に生きる私たちだけでなく、子どもたちや、さらにその先の将来世代が暮らす地域の豊かさにつながっていくとても大切な取組です。

(未来に向けての決意)

本日のサミットに集った兵庫県、豊岡市、新潟県、佐渡市が核となり、今後、生物多様性の損失を食い止め、回復軌道に乗せるネイチャーポジティブの実現を目指します。さらには地域の農業や環境の豊かさを次世代につなげるため、生産者が心を込めて生産した農産物を消費者がしっかりと買い支えることにより、人と環境にやさしい「環境創造型農業」を一層、進めることをここに宣言します。

令和7年6月7日

兵庫県知事 齋藤 元彦
豊岡市長 門間 雄司

新潟県知事 花角 英世
佐渡市長 渡辺 竜五

